

地域猫不妊去勢手術実施申請書

岡山県動物愛護センター所長 殿

申請者（活動責任者）

住所

氏名

電話 （ ）

岡山県地域猫活動支援事業実施要領に基づき、下記の猫について、不妊去勢手術の実施を申請します。

不妊去勢手術を実施するにあたり、裏面の内容について理解し、同意した上で、手術時及び手術前後に発生した不測の事態及び手術に係る以降の経過については、一切の不服を申し立てません。

記

管理番号	毛色	性別	特徴
		<input type="checkbox"/> オス <input type="checkbox"/> メス <input type="checkbox"/> 不明	
		<input type="checkbox"/> オス <input type="checkbox"/> メス <input type="checkbox"/> 不明	
		<input type="checkbox"/> オス <input type="checkbox"/> メス <input type="checkbox"/> 不明	
		<input type="checkbox"/> オス <input type="checkbox"/> メス <input type="checkbox"/> 不明	
		<input type="checkbox"/> オス <input type="checkbox"/> メス <input type="checkbox"/> 不明	

※該当する□に✓印を記入してください。

ここは記入しないでください。

搬入日： 年 月 日

手術日： 年 月 日

引渡日： 年 月 日

猫の不妊去勢手術について

<搬入の方法>

保護器を使用せず猫を搬入する場合は、必ず猫を洗濯ネットに入れた上で、キャリーケース等に入れて搬入すること。

<手術の方法>

全身麻酔により、メスは卵巣及び子宮を摘出し、オスは精巣を摘出します。

手術済みであることを識別するため、オスは右耳、メスは左耳の耳先をV字カットします。

手術対象の猫が手術中に処置済みであることが判明した場合も、同様に耳先のV字カットをします。

<手術の危険性>

手術は、全身麻酔下で行うため、麻酔薬に対するアレルギー反応の事故等リスクを伴います。高齢になるほど手術の負担は大きくなります。

発情中のメスを手術する場合は、出血が多くなるため危険を伴います。

妊娠中のメスを手術する場合は、墮胎手術となり、出血が多くなるため危険を伴います。

オスで潜在精巣の場合は、腹部等を切開するため危険を伴います。

事前に血液検査等による内臓機能状態の把握が出来ないこと、寄生虫やウイルス感染症等の病気に感染している可能性もあることから、飼い猫に対して実施する同様の手術よりもリスクが高く、保護・入院によるストレス等から病気が発症し、死に至ることがあります。

<手術を受ける際の注意事項>

手術日前12時間はエサや水を与えないください。(全身麻酔をかけた際に、胃の内容物を嘔吐し、嘔吐物により気管が詰まる危険性があります。)

衰弱している等、猫の状態が著しく悪い場合は、当日手術が出来ない場合があります。

手術対象の猫が飼い猫でないことを必ず確認してください。

申請した猫に飼い主がいた場合など、不妊去勢手術において発生する責任問題等については、申請者が責任を持って飼い主等との間で解決してください。